科目名	子どもの健康と安全			担	3当教員	大西 薫		,	
単位	1単位	講義区	分			ナンバリ	ング		
期待される学修成果									
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク								
実務経験	看護師								
実務経験を生かした 授業内容	乳児健診・小児科/産婦人科勤務の経験を活かし、子どもの発育・発達の特徴や保健活動について演習を行う。								
到達目標及びテーマ	子ども1人ひとりの心身の健全な成長・発達に応じた知識・援助技術を理解できる。 子どもの病気の早期発見・予防・事故防止対策、および健康増進に向けた保健・教育的視点のみならず、子どもの保健Aで得た知識に基づき、保育現場で生かすことができる健康や安全に関する基本的技術を習得し、実施できる。								
授業の概要	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について、演習を通して理解するとともに、関連するガイドラインや近年のデータ等から、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する。また子どもの体調不良等に対する適切な対応、及び保育における感染症対策について具体的に理解する。さらに、子どもの発達や状態等に即した適切な援助、及び子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。								
授業計画									
第1回	オリエンテーション:実習の進め方(ふさわしい髪形・服装など含む)について。事前学習と評価方法の確認。 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助1:子どもの健康と保健の意義と基本を理解する。子どもの健康と保育の環境について理解する。								
第2回	保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 2:保育における保健的対応の基本的考え方について理解する。個別対応と集団全体の健康について、どのような視点で子どもの健康観察を行うか理解する。①手洗い実習								
第3回	保育における保育活動の計画及び評価1:年間保育計画のスケジュールおよび保健計画の制作と活用を理解する。								
第4回	保育における保健的対応1:乳幼児の身体的特徴とケアについて理解する。 ②赤ちゃんの抱き方、着替えの実習								
第5回	保育における保健活動の計画および評価2:身体計測の評価方法を理解し、実践する。 ③模型人形を用いた身体計測の実習								
第6回	保育における保健的対応2:乳幼児の身体的特徴とケアについて理解する(排泄の援助)。 ④おむつ交換の実習								
第7回	保育における保健的対応3:乳幼児の身体的特徴とケアについて理解する(清潔の援助)。 ⑤沐浴実習の実習								
第8回	保育における保健活動の計画及び評価3:歯科健康診断(虫歯とマルトリートメントの関係)について理解する。 ⑥歯みがき実習								
第9回	子どもの体調不良等に対する適切な対応:子どもの体調不良に保育者が気づくために何が必要なのかを理解し、実践する。⑦生理 機能の測定実習								
第10回	感染症対策:子どもの病気で生じやすい症状に対するケアと感染症対策、集団感染の予防、衛生管理について理解する。⑧嘔吐処 理の実習								
第11回	保育における健康および安全の管理1:子どものケガで生じやすい内容と事故防止及び安全対策について理解する。 ⑨ケガへの対応と応急手当の実習								
第12回	保育における健康及び安全の管理2:災害への備えと危機管理について理解する。⑩心肺蘇生法の実習								
第13回	保育における保健的対応4:個別な配慮を要する子どもへの対応について理解する。アレルギー疾患や障害を持つ子どもへの配慮・対応の実際を理解する。								
第14回	保育における保健的対応5:幼児期における視力検査の重要性を理解する。⑪視力検査の実習								
第15回	健康及び安全の管理の実施体制:子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携。職員間の連携・協働と組織的取り組みについて事例を通して考え理解を深める。								
事前学修			られているため、 上で演習に臨むこ		題となる講義資料ノ・	ートを事前に配	布する。詞	講義資料ノートに基づいて事前	
事後学修	実技理解の確認(テスト)を数回行うため、自主的に実技の復習を行うこと。								
フィードバックの方法	授業毎の配布で	プリントは返却し	ノ、個別にコメン	ントするほか	か、総合評価を説明で	ナる。			

割合 (%)

成績評価方法

4	In
-1	1/
	, _

評価基準等

定期試験		70%		内容:学習した内容に加え、保育士資格試験や保育 士採用試験問題からも出題する。	
上記以外の試験・平	常点評価	30%		実技理解:身体計測、沐浴、おむつ交換、生理機能 の測定、心肺蘇生法、汚物処理法の実技の確認を行 う。	
補足事項	<u>'</u>				
教科書					
書名	著者	出版社	ISBN	備考	
授業で現場で役に立つ! 子どもの健康と安全演習ノート改訂第3版(授業で現場で役に立つ!授業で現場で役に立つ!)	小林美由紀	診断と治療社	4787827022	なし	

参考資料

保育所保育指針